

## 令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果概要について

保護者の皆様には、日頃から本校の教育活動にご理解とご協力をいただいておりますことに、心から感謝申し上げます。

さて、本年4月に実施いたしました全国学力・学習状況調査の本校の結果がまとまりましたので、その概要をお知らせいたします。本校では、この調査結果を踏まえ、児童（生徒）の学力向上に向けた行動プランを作成し、学校の教育計画や日常の授業の改善に取り組んでまいります。

### 国語

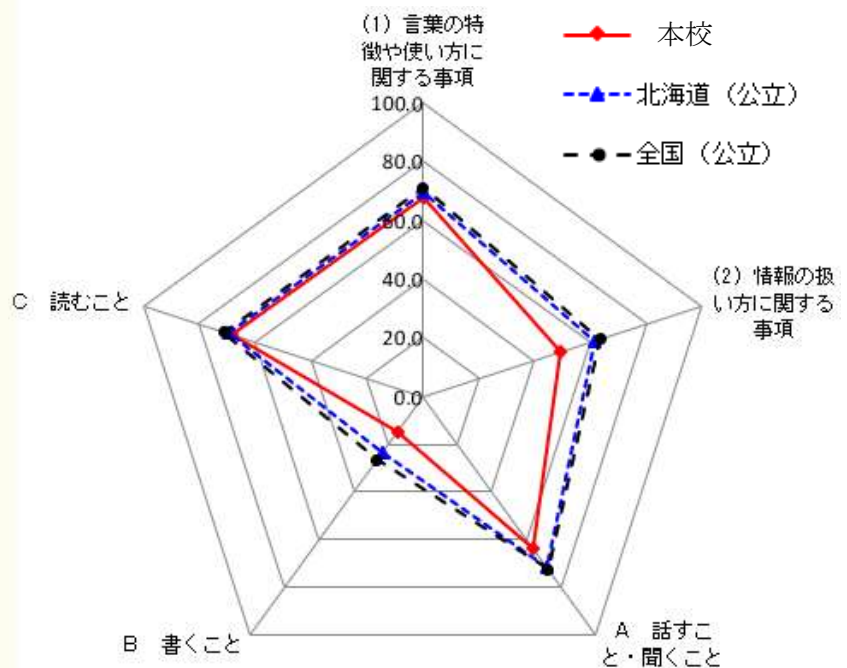
■全国平均と比べ、「低い」と言えます。

■評価の観点「知識・技能」では全国平均と比べ「低い」という結果となり、特に「情報の扱い方に関する事項」では全国平均と比べ「相当低い」という結果になりました。

■評価の観点「思考・判断・表現」では全国平均と比べ「低い」という結果になりました。中でも「読むこと」については全国平均と比べ「やや低い」、「書くこと」「話すこと・聞くこと」は「相当低い」という結果になりました。

■問題形式では、全国平均と比べ「選択式」が「相当低い」、「短答式」「記述式」が「やや低い」という結果でした。

■自分の考えを記述する問題では全国平均と比べ「高い」という結果も見られるなど、自分の思ったことを文章にする力が身につけていることが本校児童の特徴です。



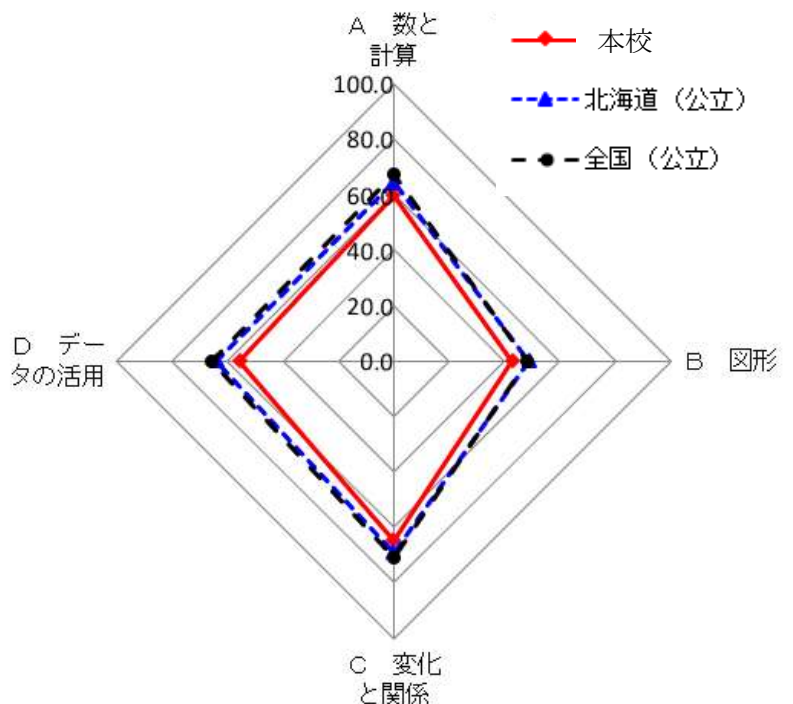
### 算数

■全国平均と比べ、「相当低い」と言えます。

■評価の観点「知識・技能」では全国平均と比べ「低い」という結果となり、特に「分配法則を用いた計算」では全国平均と比べ「相当低い」という結果になりました。

■評価の観点「思考・判断・表現」では全国平均と比べ「相当低い」という結果になりました。中でも「面積が等しい理由を言葉や数を用いて記述する問題」については全国平均と比べ「相当低い」という結果となりました。

■比例に関する短答式の問題については8割以上の児童が正答しており、全国平均と「同様」の結果が見られました。



▼国語科における正答率の低い問題

【本校 14.6%・全道 23.5%・全国 26.7%】

- ○ ○ 学校の米作りの問題点については、「川村さんの文章」のグラフ（農家の田んぼと学校の田んぼの雑草の量）と「カード④」のそれぞれから分けることを書くこと。六十字以上、百字以内にとめて書くこと。

【川村さんの文章】

学校の田んぼで取り組んだ米作りの問題点とその解決方法

今年の米作りでは、たくさんのお米をしょうかくすることができました。しょうかくまでに、いくつかの問題がありました。その中でも特に伝えたい問題点とその解決方法について説明します。

5月下じゅんに学校の田んぼになえを植えました。6月の終わりまで、週に1回、グループの3人で雑草取りを続けたのですが、ア いがいに雑草が生えてきて、どてもこまりました。そこで、雑草の量について、農家の田んぼと いくらべてみました。 うきかんは7月1日から15日までです。

右のグラフは、その結果をもとにして作ったものです。

日	農家の田んぼの雑草の量	学校の田んぼの雑草の量
7月1日	2	1
7月8日	3	1
7月15日	4	1

10人がたりの雑草を取って同じ大きさの1セツにふれ、その量を雑草の量とする。

このようなことに取り組み、9月の下じゅんにお米をしょうかくすることができました。

二 川村さんは、選んだカードをもとに、次の「川村さんの文章」の問題点とその解決方法について書こうとしています。あなたが川村さんなら、どのように書きますか。あとの条件に合わせて書きましょう。

- 【カード①】
- 6月24日
- 思ったより学校の田んぼに雑草が生えてきた。
  - このまま雑草が増えたら米のしょうかくにたいしょうするのではないかと心配だ。
- 【カード②】
- 6月30日
- 雑草取りをしているが、農家の田んぼには見られないほど、雑草の量が増えてきた。
  - どれくらい増えているのか雑草の量を調べる。
  - 調査方法 週に1回、農家の田んぼと学校の田んぼの雑草を取って、量をくらべる。
  - 調査者かん 7月1日～15日
- 【カード③】
- 7月19日
- 学校の田んぼでは、雑草の量に対して雑草取りが追いついていないと考えられる。
  - 雑草の量と米のしょうかくの関係について農家の石山さんに話を聞きに行く。
- 【カード④】
- 7月20日
- 【農家の石山さんのお話】
- 雑草に栄養をとられると、米のしょうかくが減る。
  - 雑草が多いと、いねが病気になることがある。
  - 農家は、さまざまな方法で雑草が生えないようにしている。
- 【カード⑤】
- 7月21日
- 【学校でできる解決方法】
- 雑草取りの回数を増やす。
  - 雑草取りの人数を増やす。

【川村さんの考え】

雑草が増える問題が起きたけれど解決してよかったな。米作りのときに記録していたカードの中から選んだカードをもとに、米作りに興味のある人に話して、問題点とその解決方法を書こう。

川村さん

1 川村さんは「学校の田んぼで取り組んだ米作りについて文章を書こう」としています。次は、「川村さんの考え」と川村さんが選んだ「カード①」から「カード⑤」です。これらをよく読んで、あとの問いに答えましょう。

【本校の児童の状況】

1 (二)

『図表やグラフなどを用いて、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができるかを問う問題』

▼米作りの問題点とその解決方法を記述することが理解できていない児童が多い。

▼与えられた条件を読み取ることができず、問題点については「グラフ」と「カード④」、解決方法は「カード⑤」から記入することができていない児童が多い。

- カード④からわかる問題点の記述なし：20.8% (道：18.2% 全：18.3%)
- グラフからわかる問題点の記述なし：18.8% (道：20.6% 全：19.1%)
- カード⑤をもとにした問題点の解決方法の記述なし：12.5% (道：7.7% 全：7.8%)

○記述問題に対してねばり強く取り組もうとする児童が多い。

- 無回答率：4.2% (道：7.7% 全：7.1%)

【今後に向けての改善点】

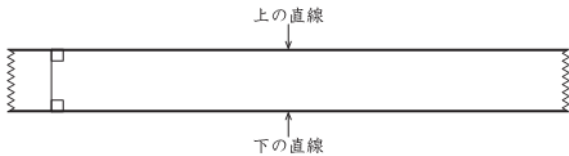
教師主導の授業を脱却し、児童自らが主体的に学ぶ力を育むことで、児童の読解力や記述力を高める。それにより、題意をしっかりと把握し、条件に合った記述ができるようになる。

▼算数科における正答率の低い問題

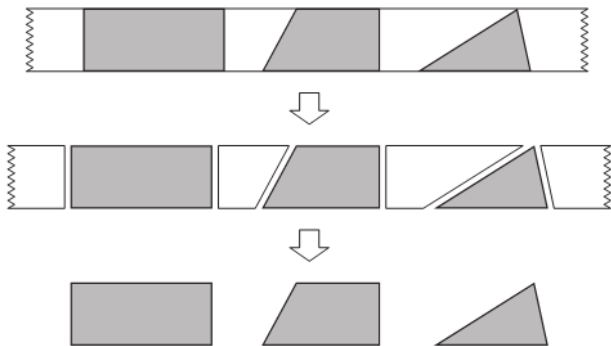
【本校 8.3%・全道 25.5%・全国 20.8%】

2

えいたさんたちは、テープを持っています。テープの上の直線と下の直線  
は平行で、テープのはばはどれも等しくなっています。

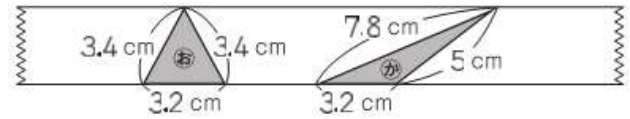


えいたさんたちは、下のようにテープを直線で切って、いろいろな図形を  
つくりました。



切り方によって、いろいろな図形ができますね。

(4) えいたさんたちは、テープを直線で切って、下のような㊸と㊹の2つの  
三角形をつくります。



上の㊸と㊹の三角形の面積について、どのようなことがわかりますか。  
下の 1 から 4 までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。  
また、その番号を選んだわけを、言葉や数を使って書きましょう。

- 1 ㊸の面積のほうが大きい。
- 2 ㊹の面積のほうが大きい。
- 3 ㊸と㊹の面積は等しい。
- 4 ㊸と㊹の面積は、このままでは比べることができない。

【本校の児童の状況】

2(4)

『高さが等しい三角形について、底辺と面積の関係を基に面積の大きさを判断し、その理由を言葉や数を用いて記述できるかどうかをみる問題。』

- ▼面積が等しいと答えた児童は 29.2%であったが、理由を答えられない児童が多く、特に算数の用語「底辺」「高さ」などを用いて説明することができていない。
- ▼比べることができないと答えた児童は 29.2%にのぼり、「平行な2直線間の距離は等しい(三角形の高さ)」ことが定着していない。
- ▼理解していても言葉で説明することが苦手である。

【今後に向けて】

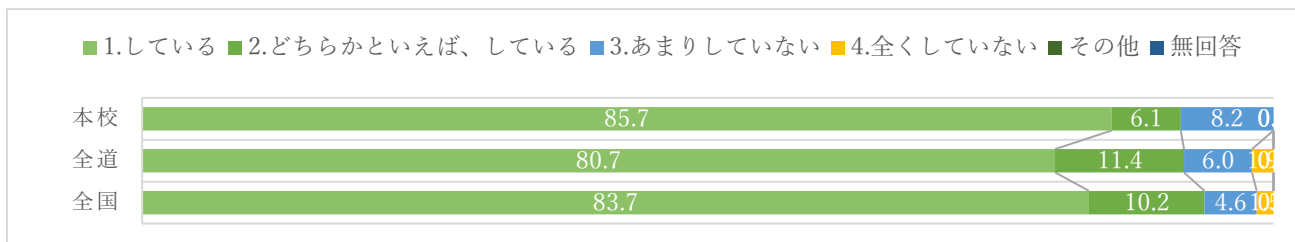
算数科で身に付けさせたい資質・能力として、①数量や図形、数量の関係を考察して見いだした事実を、確認したり説明したりすること。②問題を解決するために見通しをもち、筋道を立てて考え、その考え方や解決方法を説明すること。③論理的に考えを進めてそれを説明したり、判断や考えの正しさを説明したりすること。があげられる。

日常の授業から「自分の考え」を持ち、「自分の意見を述べることで自分の考えを深め」たり、「他者の意見を聞きくことで自分の考えを広げ」たりする『対話』を通して、資質・能力を育成していく。

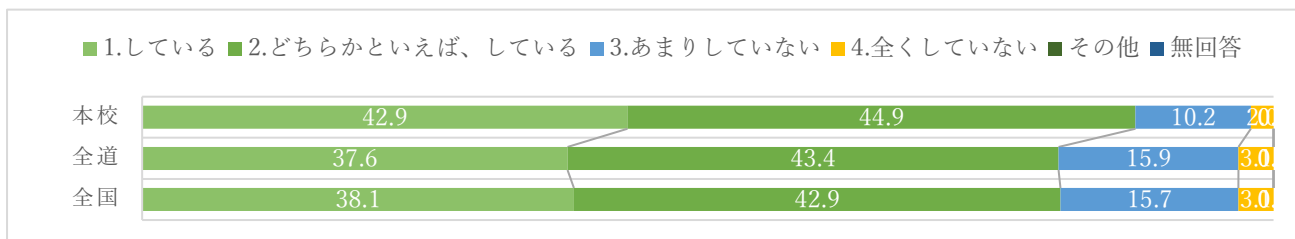
▼児童質問紙より

【基本的な生活習慣について】

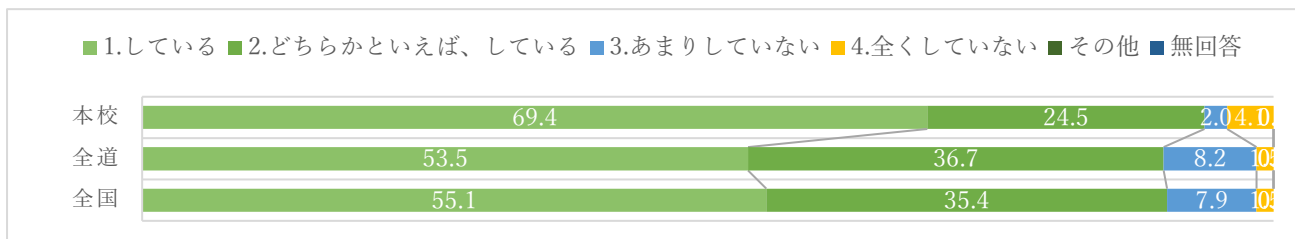
◆朝食を毎日食べていますか



◆毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



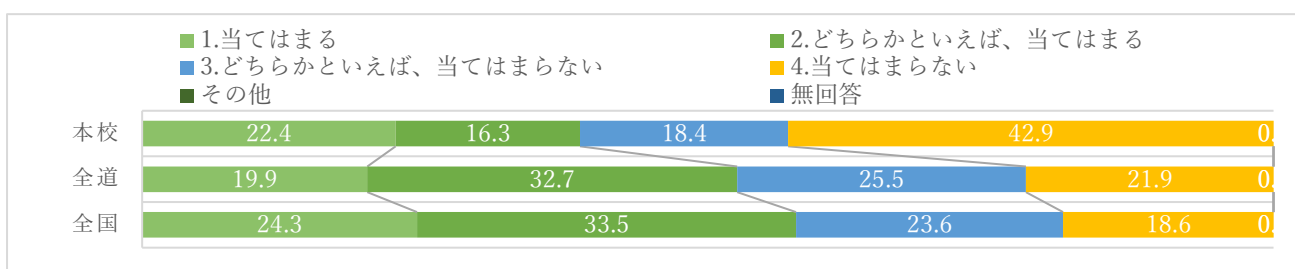
◆毎日、同じくらいの時刻に起きていますか



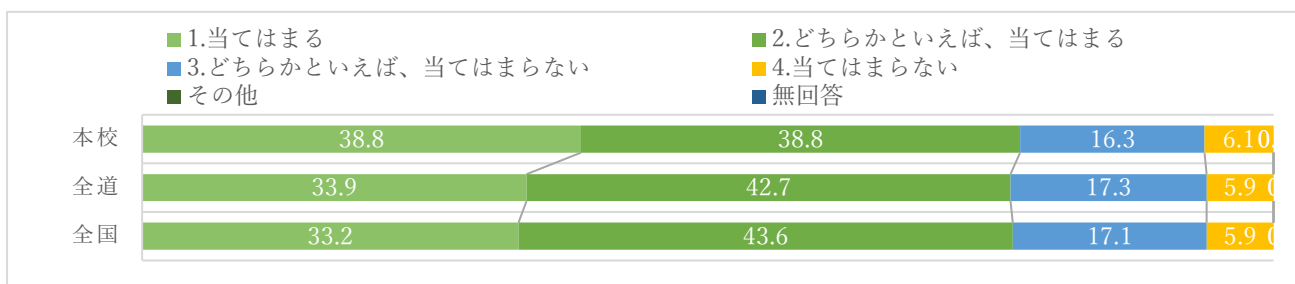
就寝・起床時刻の定着や毎日の朝食など、全国平均以上の結果となりました。ご家庭での子どもたちの生活リズムのおかげで学校生活も落ち着いて過ごせていると感じます。

【地域とのかかわりについて】

◆今住んでいる地域の行事に参加していますか



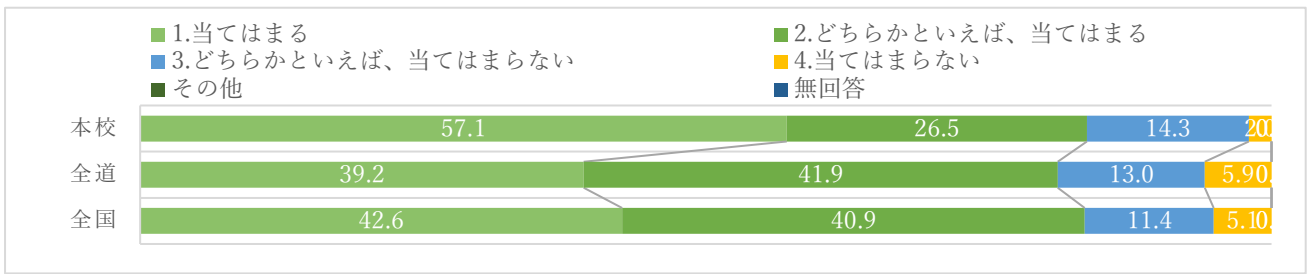
◆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



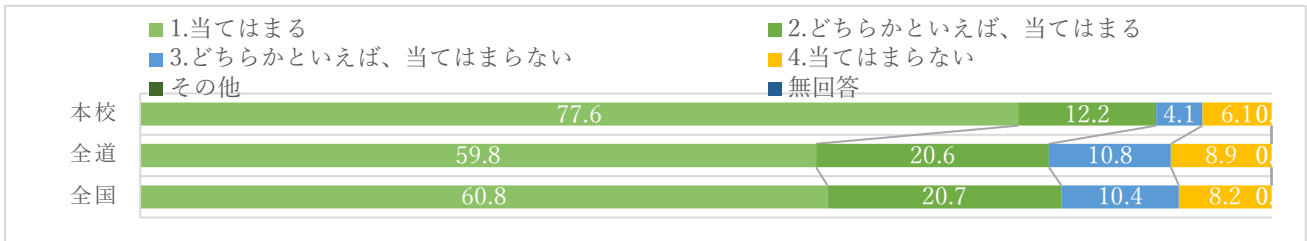
地域行事への参加が全道、全国と比較し低い傾向がみられる反面、地域のために何かをしたいという児童の割合は全国平均を上回っています。学校運営協議会（コミュニティ・スクール）などを活用し地域とのつながりを深める取組を検討していきます。

【自己について】

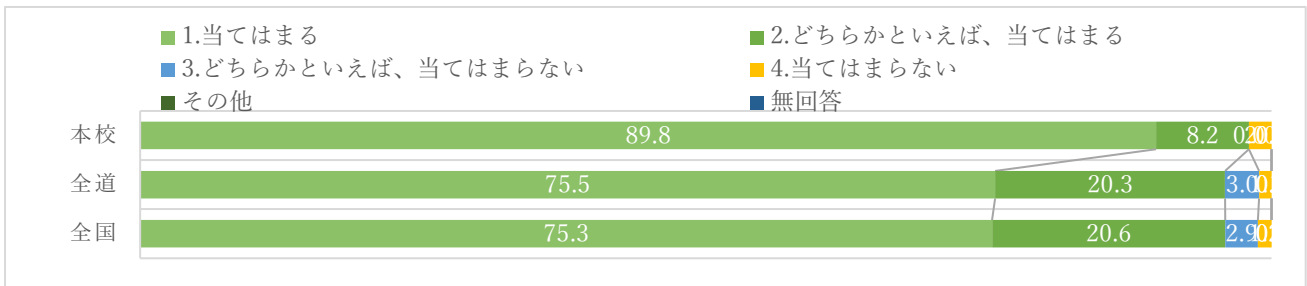
◆自分には、よいところがあると思いますか



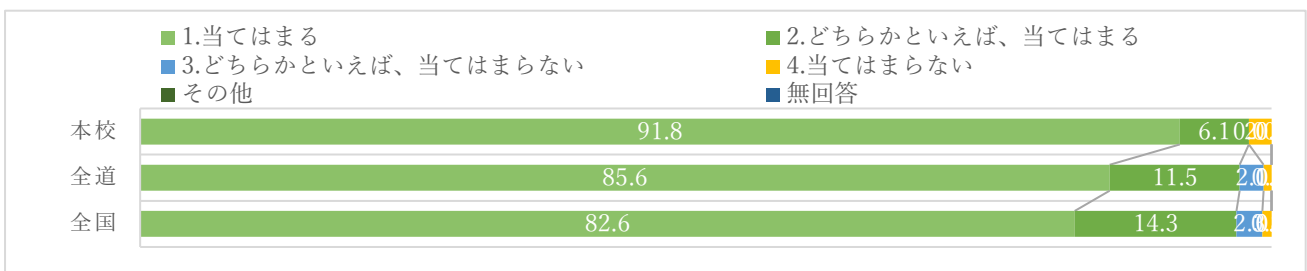
◆将来の夢や目標を持っていますか



◆人の役に立つ人間になりたいと思いますか



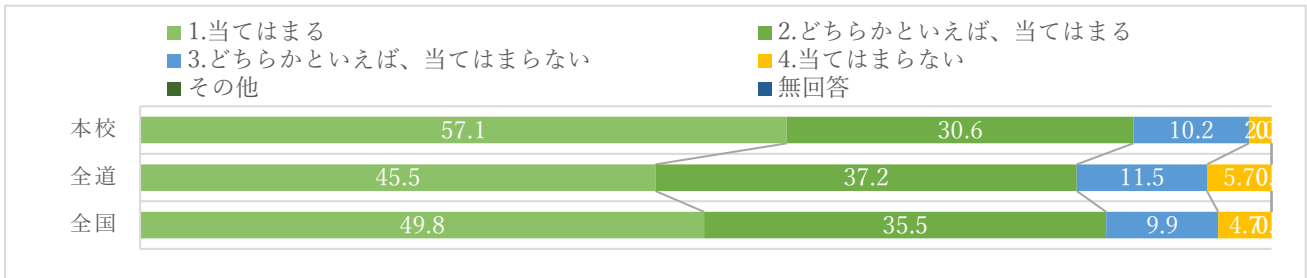
◆いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



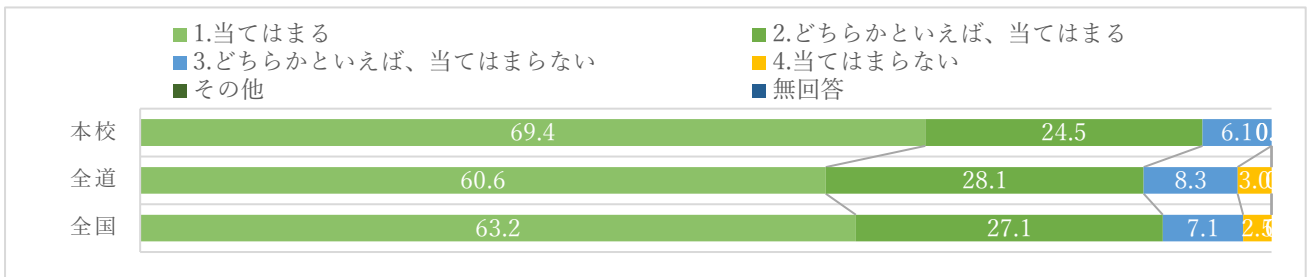
自己肯定感が高く、道徳心も身に付いている状況で非常に良い傾向が見られます。道徳科の授業を中心に日常的に継続指導している成果が表れております。また、ご家庭の協力のもと、学校と家庭が同一步調で子どもたちを見守っていることも大きく影響しているものと思います。

【学校生活について】

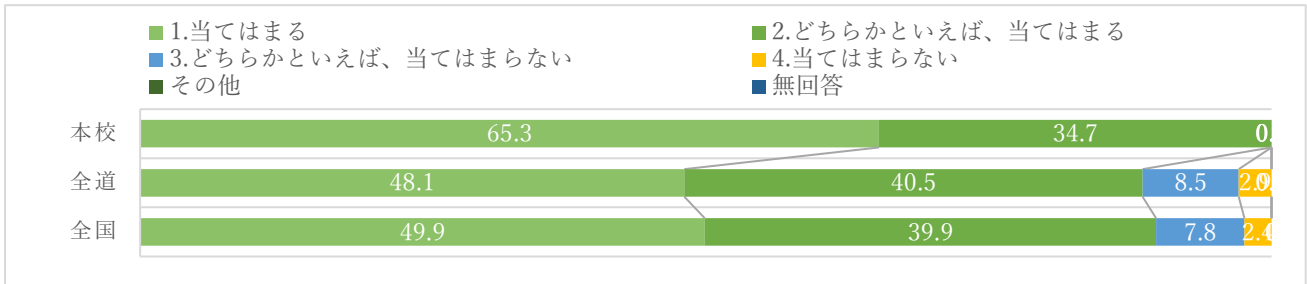
◆学校に行くのは楽しいと思いますか



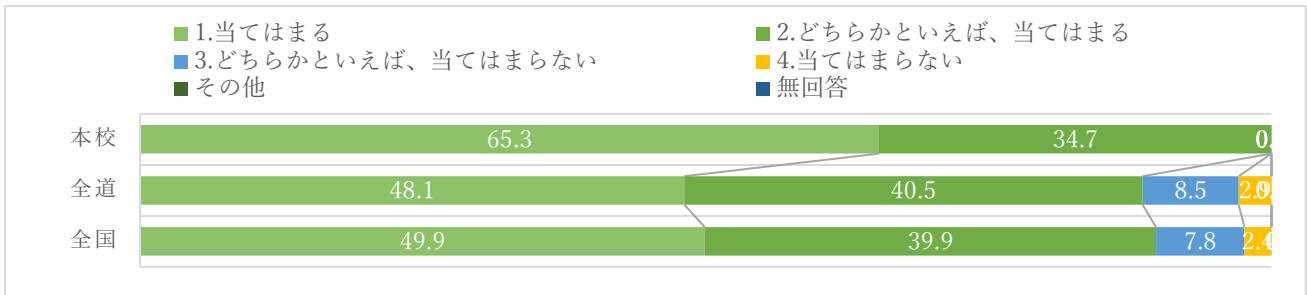
◆友達関係に満足していますか



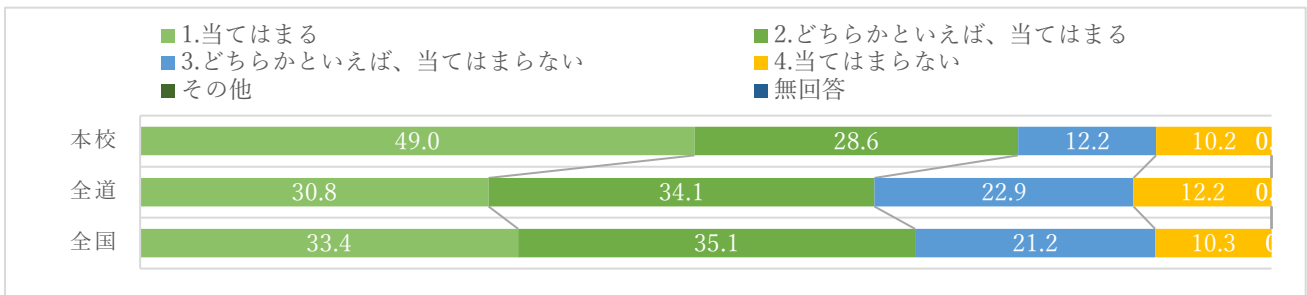
◆先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



◆先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



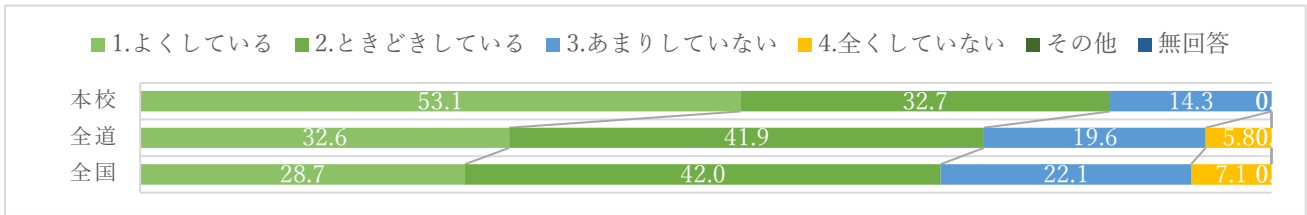
◆困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



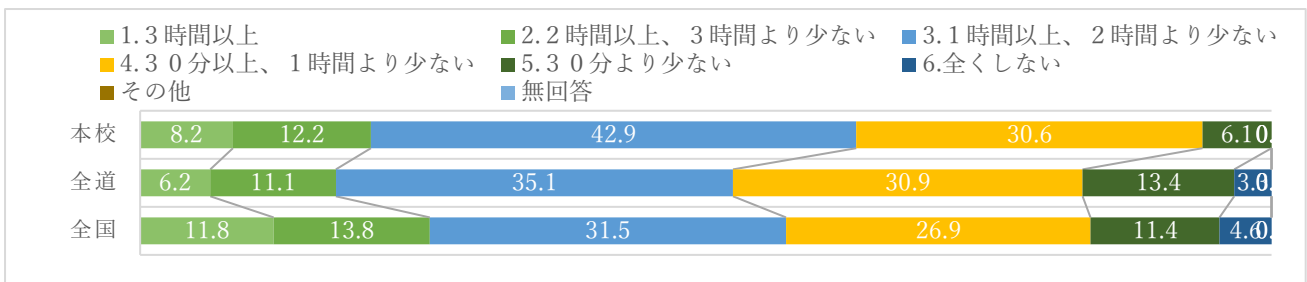
「学校に行くのが楽しい」の項目で肯定的な回答が87.7%と全国平均を上回っております。また、「友人関係が満足」の項目でも肯定的な回答が93.9%と良好な状態です。教員との関係も良好であり、落ち着いた学校生活を送っている様子が伺われます。

【家庭学習・読書について】

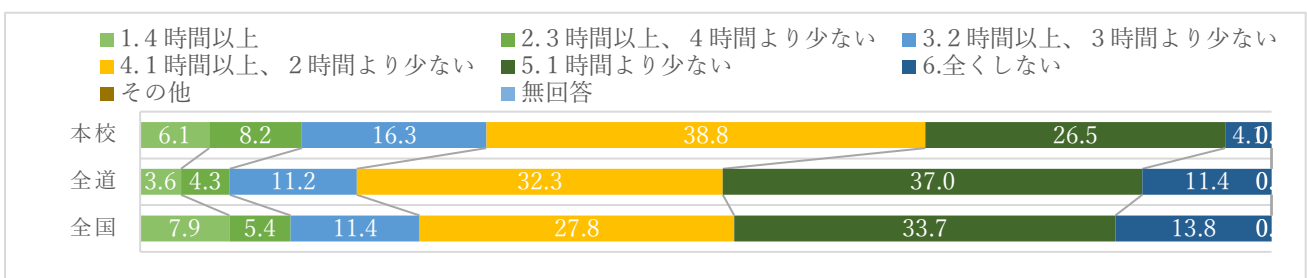
◆家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



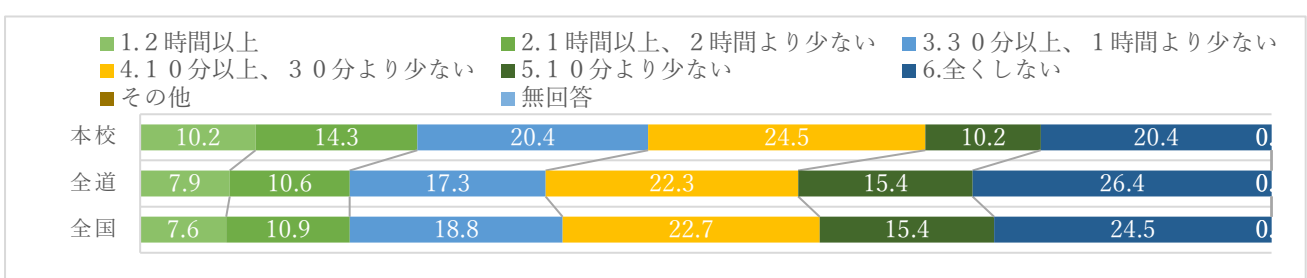
◆学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



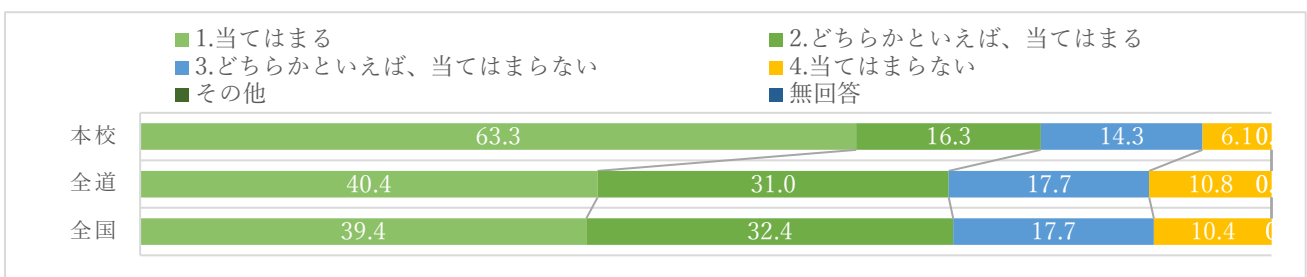
◆土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか



◆学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか



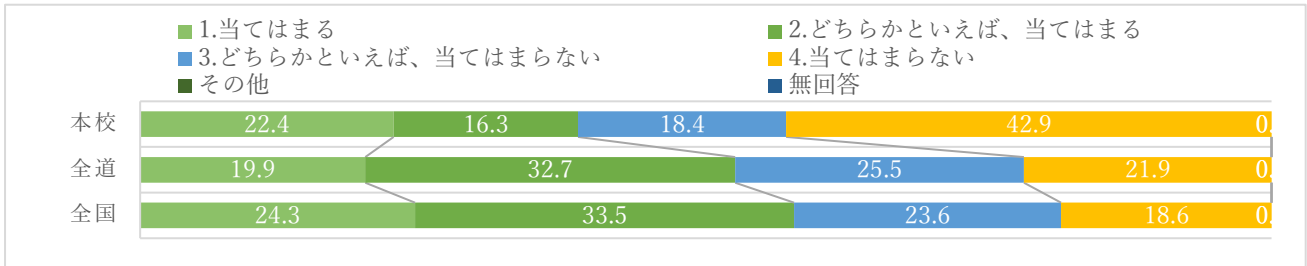
◆読書は好きですか



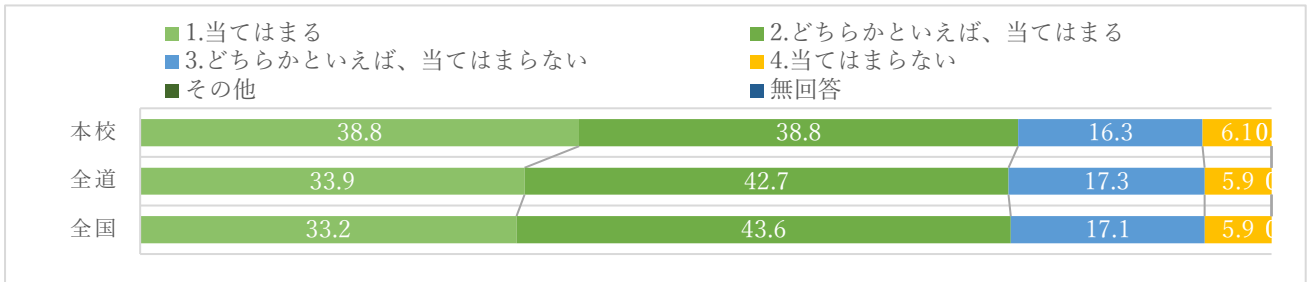
家庭での学習では、計画的に時間をかけて取り組んでいる様子が見られます。ご家庭でのお声かけなどの成果と思います。本校では、子どもたちが「対話を通して主体的に自ら学ぶ」ことを意識した授業を展開しております。ご家庭においても、学校の勉強はもちろん、自分が興味を持ったことについて学ぶことを応援していただきたいと思います。

【地域とのかかわりについて】

◆今住んでいる地域の行事に参加していますか



◆地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか



地域との関りについて、「地域や社会をよくするために何かしたい」と思う児童が多い反面、「地域の行事に参加している」と答えた児童は全国平均を大きく下回っております。学校が地域の中心的な拠点として様々な活動を行えるよう、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）を核として取り組んで参ります。

◆◆◆今後の学校としての取組◆◆◆

【学習面】

- 話の聞き方や授業姿勢、板書方法をどの学級も共通して指導していきます。
- 対話的な授業を推進することを通して、児童自ら学びとる授業を推進します。
- 1人1台端末の効果的な活用を推進します。
- 家庭学習の手引き「二小っ子プロジェクト」で家庭学習を推進します。
- 特別支援コーディネーターを中心に個に応じた指導の体制づくりに努めます。

【生活面】

- 児童会を中心とした縦割り班活動を推進していきます。
- 思いやりの心を言葉や態度で育てる道徳教育を充実させていきます。
- 全校統一した指導でソーシャルスキルの定着を図ります。